



学校だより

令和 4年11月21日
第 10号
四日市市立小山田小学校

秋晴れの日は続きます。青空が広がっても日差しに以前のような強さはなく、冬が近いことを感じます。先月10月22日(土)の運動会は、多くの方の声援に包まれ大変あたたかなものとなりました。自治会、交通安全協会、PTA本部、保健体育部などの皆様には事前の除草作業から前日準備・あとかたづけ、駐車場の交通整理等たくさんの方々に支えられ実施できた運動会でした。改めて感謝申し上げます。



さて「新型コロナウイルス感染症第8波の到来」、「インフルエンザも同時期に流行」などのニュースをよく耳にします。一時期下げ止まった様子にみえた新型コロナウイルス感染症ですが、冬場となることで今後再び感染増加が心配されます。2学期もあと1か月です。学期のしめくくりをしっかりと行い冬休みを迎えられるよう、状況を注視し感染防止対策を徹底しながら教育活動を進めます。この10月から11月の市内の小・中学校では行事の延期・変更や学級閉鎖が続きました。他校の様子をみてみますと、このウイルスの感染力はやはり侮れません。今月末には6年生の修学旅行が予定されており、今準備を進めているところです。ご家庭におかれましても、日常的な児童の健康管理はもちろんのこと、学校の感染防止対策へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

☆11月14日(月)学校集会

11月18日(金)三泗小学校音楽会に5、6年生出場

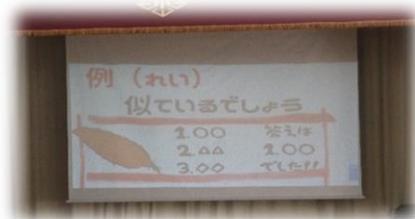


11月14日(月)の学校集会で、三泗音楽会のリハーサルも兼ねて5、6年生が発表しました。歌詞にこめられた意味を一人ひとりが考えながら練習を重ねてきました。曲名は「明日の空へ」。高学年らしいやわらかなうたごえで、美しい合唱に仕上がりました。5、6年生の発表には、歌声だけでなくその態度や姿勢などに、代表としての意識が表れており4年生以下の子どもたちも真剣なまなざしで聞きいていました。小山田小の伝統としてこれか

らも受け継がれていってほしいです。今年度の三泗音楽会は2年ぶりの開催となります。新型コロナウイルス感染症対策として、児童の間隔確保などが必要となるため、保護者の四日市市文化会館への来場はありませんでした。保護者の皆様には、11月2日(水)の学校公開日に5・6年生の合唱練習を公開しました。コミュニティスクール委員の皆様からも、「子どもたちの歌声に大変感動しました」との感想をいただきました。音楽会当日、その成果をしっかりと発揮することができました。



その後、児童会運営委員・代表委員の認証、三泗社会科・科学展の表彰を行い、最後は児童会による「芋コンテスト」です。クイズ形式で、収穫したサツマイモを楽しみました。



☆11月2日(水) 第3回コミュニティスクール

授業を参観後、2学期前半までの学校教育活動の取組について協議いただきました。

・学校の様子について

「各学級で子どもたちが落ち着いた様子で授業を受けている。」

「授業が変わってきているのがわかった。」

「自然教室などの行事をどの子もタブレットで新聞に美しくまとめてられている。」

「子どもは覚えていくのが早い。タブレットの使い方もなれてきているようだ。」

・中央小と水沢小との交流(小規模対策事業)について

本校は単学級(小規模校)でクラス替えがありません。多様な考え方にふれることや相手意識の育成などの目的で他校との交流を行っています。昨年度までは西陵中学校へ進学することを見据え、6年生のみ水沢小と交流しました。今年度は、時期は様々に、中央小と水沢小と交流(オンライン含む)しています。10月30日には中央小3年生が本校にバスでやってきました。1学期は



本校3年生が中央小に行き交流しました。今回は、学校の周辺の様子(駐在所、地区市民センター、運動場の遊具など)について担当グループごとに事前に考えた説明を行い、やりとりしました。運動場では遊具で遊んだり虫とりしたりしました。

3年生のふりかえりには、「人前で話すのはすごく緊張したけどがんばりました。」「トカゲを捕まえてすごいね、と言われてうれしかった。」「最初は話すのが短かったけど、アドリブで話しました。3人で協力してや

れてよかったです。」「一人名前を覚えました。また交流したい。」など。日常の学校生活では味わえない経験となりました。今後も、市教育委員会と検証を進め、効果的な交流にしていきたいと考えています。



☆タブレットケースについてのお願い

タブレットを家庭を持ち帰る際のタブレットケースをPTA費で購入いただいています。摩耗等で使用できなくなった場合については、同様なものをご家庭でご準備いただきますようお願いいたします。